

広報 おだわら

ODAWARA PUBLIC INFORMATION

平成5年 12月15日
December 15, 1993 No.617

発行：小田原市役所
〒250 小田原市秋葉300番地
毎月1・15日発行
編集：広報広聴課 (☎33-1261)



秋の味覚を満喫

農業まつり開催

農業を広く市民に紹介し、ともに収穫の喜びをわかち合おうと、十月二十日、二十一日の二日間、旧城内スポーツレクリエーション広場で「農業まつり」が開催されました。

くだもの、花などの即売が行われ、集まった約一万五千人の方々は、盛りだくさんの秋の味覚を満喫しました。また、子供たちは、三牧場でこわこわと牛に触れたり、金魚すくいや竹馬乗りに興じていました。



三牧場で牛と遊ぶ子供たち

公設青果市場を開放

第九回小田原青果まつり

十一月二十八日、皆さんがふだん入場することができない市場を一日開放し、生産・流通の仕組みを理解していただくこと、市公設青果市場で第九回小田原青果まつりが行われました。

会場では、希望者七十人が符丁や方法を教わった後、腕りを体験し、慣れない手つきで白菜やほうれん草、リンゴ、イチゴ、メロンなどを購入しました。また、近在で収穫された新鮮な野菜二十三トン、果物十トンがもうけなしの安価で即売され、集まった約三万人の人気を集めていました。



腕りを体験する参加者

目次

- ② 年末年始の市役所の業務と施設のお休み
- ③ 青少年育成成功者等表彰、マイタウンレポート
- ④ 特集 第9回市民意識調査結果
- ⑥ ⑦ きらめき情報、けんこうコーナー
- ⑧ おだわら・くらしのテレフォンガイド

議の進め方、全米数と見なして市立図書館の運営、国際親善委員会のあり方、先生団体の下準備を当然のことと云うP.T.A.のお母さんなど、等々、開かれた自治の理念が今でも生活のこのにもしつとりと根付いているのである。

市庁舎を始末とする公共施設の訪問や警察から、踊ったり歌ったりするのを待たず、かかえられぬ程の成長を歓迎した、開放公式の間であった。この流れを通して、私たちがこの地にを残しただけで、かたがたは、小田原市民の国際交流の歴史にきかず、足跡を

小田原に住んでこう思う

調査方法

隔年で実施の「市民意識調査」小田原市に住んで紹介しよう。う」の第九回の結果がまじまじとある。内容の一部を転記しよう。ある研究機関の調査では、人口十万人から二十万人口規模の小田原市の中で「暮らしやすさ」総合十五位という上位にランクされた小田原市。しかし、都市として至らない部分も数多くあります。市では、今回の意識調査の結果をまじまじの施策に反映させ、小田原が魅力あるまちとなるよう努力します。

市としても積極的に改善する重要課題としています。

「イジを答える人が〇から三〇パーセントいました」

「伝統的な」と「保守的な」という言葉はイミリーの調子に似ていました。しかし、今回の調査ではそれぞれを支持する人に違いがみられます。

「伝統的な」イミリーと答えた方には、小田原に永住を希望する人が多くみられました。また「親しみやすい」「明るい」「人

最も多くの人が回答したのが「伝統的な」と「保守的な」の「イライジ」とも「オナー・イライジ」を超越した。そして「セム」を超えたい。「安で」「自然な」「現しみなす」「はつた」「目立たない」「ありれた」というイメ

心 こみの減量化・再資源化
防災対策 生涯学習 女性と
社会 市からの情報提供 自
由回答（小田原市のまちづく
りについて）

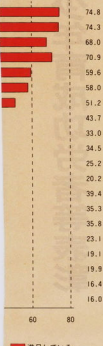
身近な生活環境は

環境評価に対しての今回の調査結果を十年前のものとは比べるべくもありません。と、「子供の遊び場」と「道路の整備」以外の事項では、満足する人の割合が増えました。この十年間で、生活の利便といった面での改善がみられます。とと言えます。

「子供の遊び場」と「道路の整備」は、「市長への手紙」や「市民と市長との懇談会」でも大々的のうからこの意見をいただきました。



图3

☒ 満足している

小田原市の活性化方策は
(複数回答)

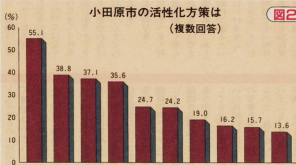


图2

小田原を色で表現したら
.....
緑が第一位

緑と答えるのが全体の八・一パーセント。年齢別、職業別、性別、地域別にみると、偏りはいくらでもあります。緑ばかりで多かったのが若者。青あがけるのは若い人によく、四十歳から三十四歳では四〇パーセントを超えています。

「ない」と回答しています。なお、高齢者では「感じる」と答える人の割合が比較的高くはなっています。しかし、全体を通じ、「感じる」と答える割合も七・七歳以上十層でも四二・五パーセントと半数に届いていません。

「山の緑」、「海の青」が小原と結び付いたのではないで
うか。

現在、市では都市イメージ
向上を目指して行政デザイン
を取り組んでいます。色もこの
要な要素です。今回の結果を
参考にしながら、小田原らしい
サインを生み出していきます

「にぎわいやいいきいきと
した都市」を感じますか

「感じる」人は二五・六パー
セント、「感じない」人は四七
・七パーセント



活性化に重要なのは

特に若者層(二十・二十四歳代)では、「一流デパートの誘致」、「ファッショナブルなショッピング・ストリートを造る」、「大規模なお祭りを行う」などの方向を支持する人が、他の年齢層に比べて多く見られました。

これらの方策は、全体ではパーセント台の支持しかみられず、若者層と他の年齢層と

ごみ収集の有料化は

考え方の違いが分かります。活性化の問題は、市の総合計画「おだわら21世紀プラン」の中でも最重要課題として位置けています。

市でも、市役所内部の組織として「活性化推進委員会」を設け、活性化の方法を検討しています。皆で知恵を出し合い、さまざまなものから積極的に実行し

市では、「クリーン小田原21」の中で、さまざまなごみの減量・再資源化対策を行っています。今後の参考に、「ごみ収集の有無」の賛否」について伺いました。

■ 賛成である
■ どちらかといえば賛成である
■ どちらともいえない
■ どちらかといえば反対である
■ 反対である
□ 無回答

ごみ収集有料化の賛否

■ 賛成である
■ どちらかといえば賛成である
■ どちらともいえない
■ どちらかといえば反対である
■ 反対である
□ 無回答

Category	Percentage
One child	60.5%
Two children	39.5%

鴨宮駅南口下車15分
酒匂中学前下車5分
保健センター入口下車3分

アジアカセは世界中に流行

たかが力ぜ、と思ひ

●	受休	
	12	

持 造 庫 庫	健 (生)	3 (5)	7 (5)
------------------	----------	----------	----------

233 -

記事の中のC印の番号は、くらしのテレホンガイドのサービス番号です。

記事の中の「印」の番号は、くらしのテレホンガイドのサービス番号です。☎33-1266に電話をかけ、案内に従ってこの番号をダイヤルすると案内を聞くことができます。休日や夜間でも利用できます。

おだわらの鳥⑨

—レンジャクとヤドリギ—

日本農学会会員

宰伏 友三

神社の境内の冬枯れた大木の枝の中に、細かな小枝の群れを見ることがある。



レンジャクである。この種は羽色により「キレンジャク」「ヒレンジャク」とに分かれ、前者はヨーロッパからアジアまで、その分布は広く、後者は英名で「ジャバニーズワックスウ

くつついてなかなか落下しない。従つて、レンジャクの集合する大木の梢付近には、彼らのフンが多くつき、それが芽を出し、ヤドリギとなるわけである。それと共に興味深いのは、レ

をとらえて姿が見つかるかどうか。実のなる木の多い所、ヤドリギの太木の下へ行ってみてはどうだろう。市内では、酒匂の住宅地区、城山の林の中でよくその姿を見ることが出来る。

だったため、渡来数は少ない
 とが予想される。
 レンジャクは、ヤドリギの害
 を好んで食べ、その種子をフン
 に混ぜて出す。このフンは「桂
 けり」が強く、木の枝に容易に

である。特に鳴き声はよく耳を澄まさないとい聞きのがしてしまいそうである。「チリチリ」とか「チリリー、チチチ」と姿同様の品がある。

今年もそろそろ冬、彼らの声

の鳥の「とりこ」になるかもしれない。
レンジャクの大きさはムクドリほどで、その生活行動は静か

ては格別であり、徳が最も才
の實の赤から成るのかと思える
ほどである。この色が見えるく
らい彼らに近づくと、きつとこ

の色は何にも例えられないほど美しい。特に寒い冬の微光の中

ンジャクが英名でワックスウィング「ロウ羽根」と言われることである。皮らの翼の先には赤



一生の思い出に
成人式に参加しよう
手づくりのアトラクションも
あります。お楽しみに。

サービスコードをタイヤル
ます。ご希望の項目がなけれ
ば、サービスコード「012」

③他にもご希望の項目があれば

①案内の声に従って、はじめに「9」をダイヤルします。

るときは

●昭和四十八年四月
日から四十九年四月一日ま
に生まれた方（平成六年一
日現在、小田原市に住民
録のある方）

◆問い合わせ 青少年課育成
☎331723

なお、案内状は年内に発送
ます。その後、転入の方には
別にご案内します。

◆期 日 一月十五日（祝日）
◆会 場 市民会館大ホール

◆問い合わせ 広報広聴課
情報係 ☎331264

終わるとき「012」を
イヤルした後)にまとめて
られます。

とめて送られます。

※一回の通話で、続けて五項まで利用できます。

シミリのスタートボタンをし受話器を置きます。しばらくすると、ご希望の案内が

小山実稚恵
ピアノリサイタル

—第30回市民会館市民劇場—



●会場 市民会館大ホール
●入場料 (指定) 3000円
●前売り 市民会館事務室
志澤デパートチケットセ
ン、長崎屋4Dサビズマ
ンター、おだちかインフ
ォーションで、好評発売
中。問い合わせ 市民会館

227146

ふるさと文化基金事業



2000人(種目)

25
5
7
5
2

分18時40分 開会式 8
時30分 (城山陸上競技場)
スタート 10 km・20 km 9
時5 km 9 時10分
3・☎(22)54558・FAX
上競技場内) ☎(24)034

◆日程 受付 午前7時10分～午後5時30分
◆申し込み先・問い合わせ先 尊徳マラソン大会実行委員会
◆申し込み 申し込みます

●期日 平成6年3月6日
●(注) 参加料を添えて直接申し込むか、郵便振替または現金書留でお申し込みください。
●種目 5 km・10 km・20 km
●重刊 男子・女子の部、
(河奈都郵便入票でも申

◆申し込み 12月20日(月)1
月31日(月)に尊徳マラソン十
会実行委員会事務局にある
用紙に必要事項を記入の上

種別にかかわらず先着順で
定員になり次第締め切り)
◆参加料 1人2500円

みんなで走ろう 尊徳の道
小田原尊徳マラソン大会
